

令和5年度 県アレルギー疾患医療拠点病院事業計画

病院名	横浜市立みなと赤十字病院
所属名	アレルギーセンター
担当者氏名	センター長 中村 陽一
連絡先(電話番号)	(045) 628-6381

1. 病院相互の連携及び診療連携体制の構築について

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業実施状況、実績見込等
<p>病診連携医療機関と連携シートを用いた気管支喘息の病診連携を実施。発作を繰り返す喘息患者を紹介いただき、完全コントロールを達成した後は逆紹介とし、半年～1年に1回、当院アレルギー科の予約を受診していただく。受診時、呼吸機能検査等を実施することによりコントロールの維持の確認をしていく。</p> <p>連携先の医療機関は、横浜市内のほか県内全域での連携を進めていく</p>	<p>COVID禍のため、呼吸機能検査は原則として控えており、可能な範囲で遠隔医療による自宅での呼吸機能モニタリングで代用している。</p>

2. 患者やその家族、地域住民に対する適切な情報の提供

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和3年度事業実施状況、実績見込等
<p>患者やその家族、地域住民に対する情報の提供は病院ホームページで行っている。</p> <p>アレルギーセンターホームページにおいて、当センターにおける診療内容、診療実績、各種講演会の情報提供を行っており、各診療科のアレルギー疾患を1つのページで網羅することで患者様に見やすいホームページを心がけている。更なる情報面の充実等の改修を行い、情報提供の充実を図る。</p>	未実施

3. 医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業実施状況、実績見込等
<p>①医療従事者向けの研修会としては、みなとセミナー、横浜みなと免疫・アレルギー講演会、横浜市アレルギー懇話会、横浜環境アレルギー研究会、横浜吸入指導勉強会を例年実施している。今年度はコロナの状況をみながら検討。</p> <p>②教職員・児童福祉施設職員を対象としては、横浜市内を中心として各機関からの依頼に基づき研修会を実施している。令和4年度はCOVID禍のためWEB研修と対面研修を併用した。引き続き状況把握をしながらの開催を継続していく。</p>	<p>① 別添参照 (資料1)</p> <p>②研修施設での研修とWEBでの配信と2通りの形式で行った (資料2)</p>

4. 県内のアレルギー疾患の実情を把握するための調査等

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
診療データ等によるデータベースを駆使して、県における各種アレルギー疾患の診療状況を細やかに把握し、疫学調査に取り組む	未実施

5. 学校等に対する医学的見地からの助言等

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
「3. 医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等」参照 出張研修会については、COVID禍の状況でWEBでの実施に切り替えられるようにする等、要望に対して柔軟な対応ができるようにしていく。	WEBでの研修を取り入れた (資料2)

6. その他の事業 (任意記載)

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
携帯電話、スマートフォンなどのIT通信機器を用いた気管支喘息の長期管理として、患者が自宅や職場で測定した呼吸機能をIT通信機器により当院にデータ送信し、悪化時に医師から患者に個別にアドバイスを送る喘息遠隔医療のシステム(Asthma Real-time Monitoring System: ARMS)を導入中。また、過去の気象と喘息症状の関連から導き出した予測式を基に「喘息予報」の提供を今年度も行っていく。	・ARMS登録患者数：86名 ・コメントでのアドバイス 件数：3件 (資料3)

7. 県拠点病院としての取組について (年度ごとの取組にかかわらず記載してください。)

<p>来院による相談として、小児喘息相談、成人喘息相談(計、月3回 年間30回)を実施しています。</p> <p>また、小児アレルギーエデュケーターを取得した看護師・保健師・薬剤師・管理栄養士が在籍し、随時相談に応じています。</p> <p style="text-align: right;">(資料4)</p>

第28回

アレルギー週間

講演会・患者相談会

(WEB開催)

参加
無料

4月9日 **土** 14:00~16:30

※今回は新型コロナウイルス感染予防のためWEBでの開催とします

第1部 14:00 ~ 15:30

ミニ講演 ~アレルギー疾患医療の近況~

中村 陽一 (内科) ・ 海老澤 元宏 (小児科)
松倉 節子 (皮膚科) ・ 山下 ゆき子 (耳鼻咽喉科)
上原 直子 (小児アレルギーエデュケーター)
園部 まり子 (NPO法人アレルギーを考える母の会代表)

第2部 15:30 ~ 16:30

個別相談会

相談員： 同上 及び 若干名

Zoom meetingで開催 (定員100名)

下記リンクまたはQRコードよりお申込みいただけます。



<https://forms.office.com/r/zJ3Q7bady7>

※Zoom最新版をインストールしてください



主催：公益財団法人日本アレルギー協会
アレルギー週間神奈川地区実行委員会

後援：厚生労働省、公益社団法人日本医師会
一般社団法人日本アレルギー学会

お問い合わせ(平日 9:00~17:00)

TEL: 045-628-6381

謹啓時下、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、講習会開催が困難な状況が続いております。
そこで、このような状況を鑑み、本会をWEB講演会にて実施させていただき運びとなりました。
ご多用中と存じますが、裏面URL・QRコードよりご出席賜りますようお願い申し上げます。謹白

日時

2022年 7月27日(水) 19時00分～

プログラム

【製品紹介】19:00～「ヘパリン類似物質外用泡状スプレー0.3%「日本臓器」」

【講演 1】 19:10～

**「実践・小児アレルギー診療
～患児、保護者へのアプローチ」**

<座長> 横浜市立みなと赤十字病院 小児科/アレルギー小児科 部長 磯崎 淳

<演者> 国立病院機構福岡病院小児科 医長 本村 知華子 先生

【講演 2】 20:00～

「痒みをともなう皮膚疾患に対するスキンケアを見直す」

<座長> 横浜市立大学環境免疫病態皮膚科学 教授 山口 由衣先生

<演者> 関西医科大学皮膚科学講座 教授 谷崎 英昭 先生

※日本医師会生涯教育講座1.5単位が取得できます。

4.医師-患者関係コミュニケーション 72.成長・発達の障害 73.慢性疾患・複合疾患の管理

横浜市民向け講演会

10/30日

ぜんそくをめぐる アレルギー疾患

近年、アレルギーに悩む人が増えていることをご存じですか？
アレルギーには、気管支ぜんそくや花粉症、食物アレルギーや
アトピー性皮膚炎など様々な疾患があります。上手な付き合い方、
最新の治療方法を専門医から聞いてみませんか。



当日プログラム(予定)



ZOOM開催

令和
4年 10/30日

〈開設時間〉10:00~11:30

● はじめに

● 第1部 ぜんそくと花粉症の最新情報



講師

横浜市立みなと赤十字病院 アレルギーセンター アレルギー内科部長
橋場 容子 医師

専門・認定・
指導医

日本アレルギー学会専門医(内科)
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医

● 第2部 こどものぜんそくとアレルギー疾患あれこれ



講師

横浜市立みなと赤十字病院 小児科部長/アレルギー小児科部長
磯崎 淳 医師

専門・認定・
指導医

日本小児科学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医(小児科)・指導医(小児科)
日本感染症学会感染症専門医・指導医

● 関連事業のご紹介

申込について

お申し込みは
こちらから令和4年
申込期間 10/5水 ▶ 10/19水定員 90名 (応募者数が上回った場合は
抽選になります)

- 10月26日(水)までに、
当選した方にEメール
にてご連絡します。
- 通信料等をご自身の
負担となります。

講演会の詳細はこちら [横浜市 アレルギー情報](#)

主催：横浜市健康福祉局/横浜市立みなと赤十字病院

お問い合わせ

横浜市健康福祉局保健事業課

☎045-671-3824 FAX 045-663-4469

※ご回答いただいた内容は本事業に関する目的のみ使用いたします。

裏面にアレルギー疾患相談
お役立ち情報があります!

ARMS（遠隔医療による喘息管理システム）

ぜん息は慢性の病気であり高血圧や糖尿病と同じように長期の自己管理が必要です。
高血圧では血圧を測り、糖尿病は血糖を測定します。

ぜん息で定期的に測定するコントロールの指標は「呼吸機能」です。

呼吸機能検査を定期的に調べることにより、発作の予防になり、
潜在的な気管支炎の「炎症のくすぶり」を見つけることができます。

そこで、多くのぜん息患者さんが簡易式の呼吸機能検査装置（ピークフローメーター）を
使用し、毎日ご自宅でぜん息日誌に結果を記載しています。

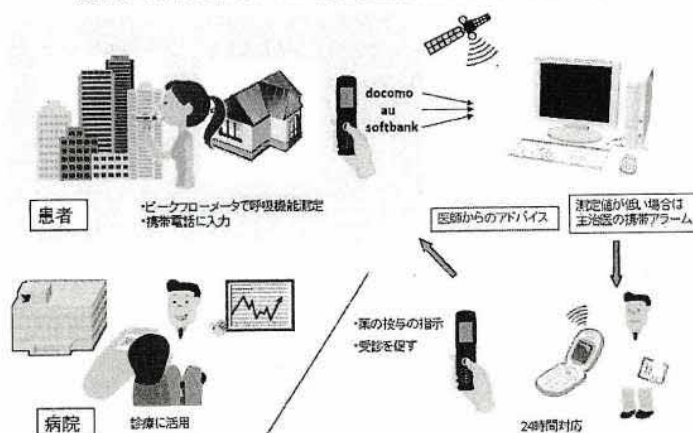
ところが、これらの測定結果をすぐに主治医に知らせることが出来ません。

そこで、主治医が毎日の患者さんの症状を知るため、測定していただいた結果をすぐに教えていただくため、
携帯電話による喘息の状態を主治医に送るシステムを考案いたしました。

- ① 患者さんのご希望の時間に携帯電話から
「呼吸機能を測定してください」という連絡音が鳴るように設定する
 - ② 測定した値を携帯電話に入力していただく
 - ③ 当センターにその結果が送信される
 - ④ 値により当センターの医師の携帯電話に連絡が入り、
必要に応じて患者さんへのアドバイスを送信する
- 不安になる前に医師から携帯でアドバイスが送信されるので、安心して日々をお過ごしいただけます。

ご希望の方は、ご相談ください。また、携帯電話だけでなく、パソコン、スマートフォンにも対応しております。

携帯電話を用いた喘息遠隔医療（ARMS）



みなと赤十字病院

アレルギーセンターには

「小児アレルギーエデュケーター」

が、在籍しております。

小児アレルギーエデュケーターとは？

専門知識と技術をもって、コントロールの難しいぜん息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどのアレルギー疾患のお子様、ご家族に指導ができる専門職です。医師による診断・治療方針決定後、患者さん、ご家族と共に病気とのかかわり方を一緒に考え、地域の小児アレルギー専門施設としてサポートしてくれる看護師さんです。学校や幼稚園、日常生活について普段病院では聞きにくい方も、お声をおかけください。



☆～ 令和 4 年度 ぜん息相談 日程 ～☆

	成 人		小 児
	第 2 木曜日 (Dr.中村)	第 4 木曜日 (Dr.橋場)	第 3 木曜日
5 月	12 日	26 日	19 日 (Dr.磯崎)
6 月	9 日	23 日	16 日 (Dr.安藤)
7 月	14 日	28 日	21 日 (Dr.小張)
8 月	山の日	25 日	4 日 (Dr.磯崎)
			18 日 (Dr.安藤)
9 月	8 日	22 日	15 日 (Dr.小張)
10 月	13 日	27 日	20 日 (Dr.磯崎)
11 月	10 日	24 日	17 日 (Dr.安藤)
12 月	8 日	22 日	15 日 (Dr.小張)
1 月	12 日	26 日	19 日 (Dr.安藤)
2 月	9 日	天皇誕生日	16 日 (Dr.小張)

成人：①14：00～15：00 ②14：30～15：30

小児：①14：30～15：30 ②15：00～16：00 ③15：30～16：30